

いつもカッコ良い仕事振り

紅葉の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

先日ある講演で興味深い話を聞きました。「うつ病」を研究しようとした研究者がまず「うつ病」になろうと「1日1000回のため息」と「ネガティブシンキング」で見事3ヶ月にて完璧な「うつ病」になったようです。「人は悲しいから泣くのではない、泣くから悲しいのだ。」「人は楽しいから笑うのではない、笑うから楽しいのだ。」なんて言葉があります。



代表取締役社長 吉田治伸

今回新しく制定した行動指針のイの一番は、「いつもカッコ良い仕事振り」と致しました。私が常々思っている事は、お客様やユーザーの方と常に最前線で向き合っている当社の社員にとって、自分の価値(評価)は自分で創るべきであって、その価値(評価)の大きなウエイトをしめる事は、「カッコ良い」とか「楽しそう」(「楽しい」ではありません)ではないかと。昔「ボロは着てても心の錦～」なんて歌がありました。そんな事は大変難しい事です。「ボロを着たら、心もボロになります。」「楽しい」職場は「笑い」があるから「楽しい」のです。「楽しい」職場の裏側には、それぞれの「笑い」をつくる努力、「感動」を演出する工夫がある事を見逃してはいけません。

私が入社した時の研修時、素手でドロドロになって生ゴミを分別しました。その時思った事は、「こんなカッコ悪い事やりたくない」です。その日からいかにその仕事をカッコ悪くないようにする事が私の挑戦でした。

プロの仕事は「安全」で「カッコ良く」「美しい」ものです。それに「楽しそう」が加われば言う事はありません。皆でチャレンジしませんか。